五代の子



合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」

五代小　学校だより
令和７年　９月１６日
宇都宮市立五代小学校
校長　林田　浩二

「いじめ」のない五代小を目指して

夏休みが終わり、学校が再開されましたがまだまだ暑い日が続いています。

さて、学校は１学期の終わりに近づき、まとめの時期です。その学年や、１学期で学ぶべきことをしっかりと確認、復習して１学期を終えられるようにしたいと思っています。

学校では５月、９月を「いじめゼロ強調月間」として、さまざまな取組を行っています。学校は多くの子が集まり、勉強や運動を通して育っていきます。集団で生活するためには「人とのかかわり」が不可欠です。そこで大切になってくるのは「一人一人を大切にする心」です。自分だけでなく、相手も大切にすることができれば、学校から「いじめ」はなくなっていくのではないかと思います。

＜いじめゼロ強調月間　９月１日～９月３０日＞

＜いじめゼロ標語の作成＞



いじめゼロ標語の掲示



児童一人一人が「いじめゼロ標語」を作成して教室に掲示しています。

「いじめ」を他人事にせず、五代小の全員に関係することであり、自分自身のことだと認識することが大切です。

加害・被害だけでなく、見て見ぬふりも「いじめ」を広げることになります。

五代小いじめゼロ宣言「４つの勇気」

「やめる勇気」「とめる勇気」
「話す勇気」　「認める勇気」

をもっていじめゼロを目指しましょう。



＜いじめゼロ集会・音楽集会＞

9/10(水)に企画委員が中心となって「いじめゼロ集会」、「音楽集会」が行われました。

企画委員が学校生活で起こり得る「いじめについて考える劇」を２つ演じて、「こんなときどうすればいいか」考えることができました。

音楽集会では「勇気100%」「すてきな友達」の２曲を全員で歌いました。どちらも「いじめゼロ」につながる歌詞で、とても素敵でした。



いじめについて考える劇

子供は大人の姿、言動をよく見ています。大人がきまりを守らずゴミを捨てているところ人の悪口や文句を言っているとところ、好き嫌いで態度を変えているところ・・・

もちろん大人も「人」ですから完璧ではないし、誰もがそんな気持ちになることもあります。しかし、子供にとっては「やっていいこと」となってしまいます。

社会、学校にはいろいろな人がいて、誰もが頑張って生きていて、大切な存在です。

一人一人が大切にされる五代小学校を目指して、学校でも努力していきます。

